

警鐘レポート2 注射剤の血管内投与後に発症したアナフィラキシーによる死亡

事例8

< 事例概要 >

- ・ 50歳代、シャント閉塞した維持透析患者。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。
- ・ 原因薬剤は、ヨード造影剤（イオプロミド）。CT検査室で発症。
- ・ 過去にヨード造影剤（イオメロン）を使用し、アレルギー症状の出現有。
- ・ 造影剤を注入後、撮影中から咽頭部違和感が出現。初発症状から1～3分後（撮影終了時）、掻痒感、息苦しさを認め、診察。血圧低下、経皮的動脈血酸素飽和度（SpO2）測定不能。2～5分後、冷汗があり、アドレナリン0.5 mgを筋肉内注射し、緊急コール。5～8分後、意識消失。救急処置を実施するが、約6時間後に死亡。